

協働のまちづくりに向けて



海田町国際交流協会

会長 沼 静香さん

海田町国際交流協会は、平成六（一九九四）年に産声をあげ、現在は窪町の住民活動センターを拠点にして活動しています。当協会は、幅広い町民の参加による活力あふれる国際交流活動を実施することにより、国際性豊かな人材の育成を図るとともに、会員の相互理解、友好親善、国際平和の促進に寄与するという目的で設立されました。

設立当時はブラジルやペルーなどの南米の方が町内に多く居住されており、サッカー大会などによって町民と交流を図ってまいりました。また海外研修では、海田町からの補助金を有効に活用して、参加した青少年が訪問国の学校やホームステイ先で海田町や広島県等を紹介して、交流の輪を広げ、形には表せない「大きなお土産」も日本に持ち帰っています。

これまでに、シンガポール・マレーシア・オーストラリア・中国・韓国を訪問しており、平成二十五年度の海外研修につきましましては、現在検討中です。詳細が決定次第「広報かいた」などで皆さまにお知らせすることとしております。

今後とも、当協会への温かいご支援とご参加をよろしくお願い致します。



韓国の昌信（チャンシン）学園にて



皆さまから寄せられたお便り



- 新庁舎の建設場所がとても気になります。町民全体の利便性とコストを考慮した建設をお願いします。
- この町に41年間暮らしていますが、とても活気にあふれている街づくりが出来ていると思います。
- JR高架事業は、県・市に町民の声をとどかさすべきと考えるのは、私一人ではないと思う。
- 1月号の「議会だより」で「未就学児の通院医療費」の安芸郡4町の一覧がありましたね。（自己負担が）500円は安いと思っていましたが、熊野町と府中町が無料とは驚きました。児童手当が一律料金なのに、この差は納得しにくいものがあります。



- 議会だよりはなるべく目を通すようにしています。
- 私は6年半前、県外から来たのですが、以前住んでいた所にはこのような「たより」はありませんでした。このような「たより」は、議会で何が話されているのかよく分かるので、とてもいい内容だと思います。

※たくさんのお便り、ありがとうございました。これからもどんどんお寄せください。待っています。